事例No.	1434
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	高知県土佐清水市

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・研修会・勉強会 ・税財政

事例種類	人材育成・確保

事例内容・タイトル

林業研修による担い手の確保・育成

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

高知県　土佐清水市（林業研修による担い手の確保・育成）

- 土佐清水市では、林業就業者の減少が著しい上、市外へ職を求めて若者が流出し、担い手の確保が困難な状況になっている。
- そこで、森林整備に必要な林業労働力を確保するため、また、自身が所有する山林を手入れできる人材の育成を目的とし、森林環境譲与税を活用し、研修事業を実施していく方針。
- 令和２年度においては、以下の取組により、延べ38名への林業研修を実施した。
  - 市内外の林業に関心がある方を対象に、5コース・10日間の研修を実施。
  - 伐木等の業務による特別教育の修了生7名、小型車両系建設機械(整地等)による特別教育の修了生13名を輩出した。
  - 研修後、自身が所有する山林の整備を行う方や、薪の販売を行う方が現れるなど、一定の効果があった。

□　事業内容

森林（もり）を守る担い手育成研修の実施

- 林業に関心があり、「仕事内容を学びたい」「林業で生計を立て、土佐清水市で暮らすイメージを持ちたい」という方を対象に、5コース・10日間の研修を実施した。

【事　業　費】1,001千円（全額譲与税）

【実　　績】延べ10日間の研修を38名が受講した。

①初心者研修：1日間（森林って？林業って？どんな作業があるの？山の価値は？山仕事は危ない？森林組合と個人はどう違う？収入は？等々をテーマに実施）

②チェーンソー研修：3日間（伐木等の業務による特別教育）

③3tバックホー研修：2日間（小型車両系建設機械(整地等)による特別教育）

④チェーンソー体験研修：1日間（立木の伐倒を体験）

⑤林業体験研修：3日間（作業道開設と間伐木材の搬出）



（1　ﾁｪｰﾝｿｰ研修）



（2　伐倒体験）



（3　作業道開設）

□　事業スキーム

研修の実施

市 → 依頼 → 講師 → 研修実施 → 研修生

□　工夫・留意した点

- 新聞折込によりパンフレットと申込書を配布し周知を図った。
- 働いている方でも受講しやすいよう、土曜日・日曜日を中心に研修を実施した。
- 特定の就業形態に特化せず、広く林業や山の手入れに関心がある方を対象とした。
- 伐採した木材を共販所に出荷し、「切った木がいくらになるのか」までを体験できるようにした。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	24,962千円
②私有林人工林面積（※１）	5,073ha
③林野率（※２）	85％
④人口（※３）	13,778人
⑤林業就業者数（※３）	52人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より